

2023 年度 部局 FD 活動報告

情報学研究科

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）		
情報学研究科は学際情報学，基幹情報学の 2 専攻からなり，各専攻で FD 検討委員会を設置。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4/7	大阪公立大学 大学院情報学研究科 設置記念シンポジウム 「繋がる」を広げる～「×情報学」による分野横断型研究の促進	不明
5/12	FD 研修会「Chat GPT と大学教育 - 対話型 AI が教育現場にもたらすインパクトと対応策」	不明
5/2～5/22	第 1 回王立ブノンペン大学教員研修団来訪 世界銀行プロジェクトによる上記教員団を受け入れ，期間内に専攻教員と研究指導，授業計画に関する研修を行った。	来訪教員団 6 名 基幹情報学 全教員 学際情報学 一部教員
11/24～12/1	第 2 回王立ブノンペン大学教員研修団来訪 同上。	同上
12/13	全学 FD・全学 SD「大学における生成 AI の活用について考える —教職員・学生の活用事例から」	不明
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回（＊月＊日）～について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
基幹情報学 FD 検討会議（全 12 回）	毎月最終週火曜日開催の専攻会議と同時に開催，カリキュラム等を検討	29 人
学際情報学専攻 FD 会議	学際情報学専攻の授業実施内容の検討・2 月 8 日	26 人
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）		
・Microsoft Azure Dev Tools for Teaching を利用し，所属学生が授業の自習・研究に利用可能なプログラミング開発環境の提供を行った。 ・大学院生について，8/30 にポスター発表形式の中間報告会を実施。中間報告として研究内容をまとめることにより，各自の研究進捗を促すと同時に他研究室との交流を行った。		
5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください）		

基幹情報学専攻

専攻会議で共有，分析を行った．後期は 2022 年度のみ，前期も 22，23 年度 2 年分のため，まだ十分なデータが蓄積されていないが，前期分については経年で大きな変化は見られない．

学際情報学専攻

FD 会議において成績 GP 分布を共有し確認した．

6. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 55 ）人

・所属内の専任教員の人数 （ 55 ）人

7. その他、追記事項